

横関油脂工業株式会社 ～人材戦略としての健康経営～



健康経営の取組みに対する考え方

横関油脂工業株式会社は1948年に東京都新宿区で創業しました。魚油の加工から徐々に事業領域を拡大し、現在は動植物油脂を中心に食用、工業用、化粧品用途から化学品まで幅広い製品を取扱っています。1990年には本社と工場を茨城県北茨城市に移転し、現在は2工場体制で海外へも製品を供給しています。

ここ数年の同社の健康経営に対する取組みは顕著なものがああり、2019年以降「いばらき健康経営推進事業所」に継続認定されています。また経済産業省の健康経営優良法人にも3年連続で認定され、2021年3月には上位500社のみが表彰される「ブライツ500」に顕彰されました。



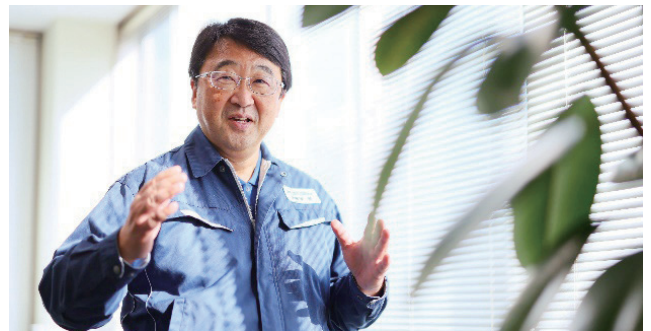
この健康経営に対する取組みについて、同社の伊藤社長にお話を伺いました。

「私が取組んできた大きなテーマの一つに人材戦略があります。従業員が会社で働く8時間でどうしたら最大のパフォーマンスを発揮することができるのか…。この戦略の推進力となっているのが健康経営です。

具体的には、

- ・ 仕事以外のプライベートな時間を充実させる
- ・ 常に心身ともに健康な状態をつくる

この2点が当社の福利厚生施策の根本にあるということです。会社の健康に関する施策を一定の水準まで引上げ、それを維持するためにこれからも認定制度にチャレンジしていく方針です」と述べられました。

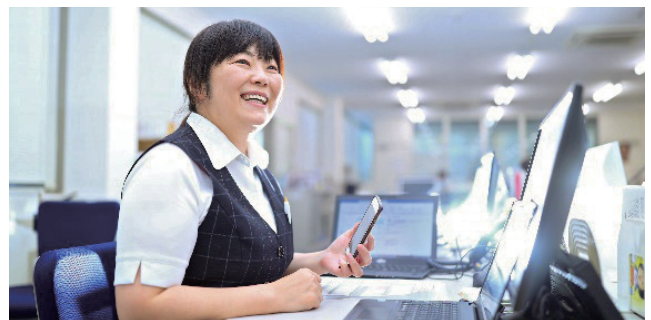


伊藤社長

有給休暇取得、健康診断、インフルエンザの予防接種、実行率は全て100%

健康経営の担当部署は総務部です。会社の方針を受け、総務部の吉田マネージャーが中心となって数多くの施策を推進しています。「毎年度計画を立て、全従業員に主旨を理解してもらい、所属部署の上長の協力を得て、例外や特別扱いを作らず実行し、結果をレビューする」吉田マネージャーは、毎月の安全衛生委員会やリーダーミーティング等において全社への浸透を継続しています。その結果、実行100%という成果が得られています。

同社は有給休暇の取得促進に関して、6年ほど前から本格的に取組み始めています。年度で支給される有給休



吉田マネージャー

暇の付与日数を明確にし、リーダーミーティングで四半期毎にその取得率を確認し進捗を共有しています。また休暇計画を立てやすくするため全体行事や会議等のスケジュール（極力月曜日と金曜日を避ける）を年度当初に発表し、時間有給休暇を含め会社と上長が取得に前向きな姿勢をとることで、取得しやすい会社全体の雰囲気醸成しています。

健康診断の受診やインフルエンザの予防接種も100%の実施率です。人間ドック等の健康診断は再検査も含めて「業務」として認めており、インフルエンザの予防接種は、毎年会社の会議室で集団接種を企画しています。昨年度は風疹の予防接種も対象者全員が会社での接種に参加しました。この成果は、受診の環境整備等、同社が健康に関する施策を最優先に据える体制に裏打ちされています。



健康診断の様子

メンタルケアへの取組み

同社はメンタルケアに特に力を注いでいます。

ストレスチェックから得られるデータとして集団分析結果がありますが、このデータを役員と部を統括するマネージャーで共有し、高い評価の部署にみられるマネジメント手法等の情報をシェアし自部署での展開に役立っています。

従業員一人ひとりのメンタルヘルスの状況を自認してもらうために、地域の医療機関と提携して「心理ドック」も実施しました。心理士による面接指導は、メンタル不調の事前予防に機能しています。

また、総務部の小峰リーダーは「産業カウンセラー」の資格を有しており、産業医や医療機関と連携して、従業員の抱える問題を解決しています。この資格は、約半年の社外講習と試験をクリアして得られる資格です。小峰リーダーが「カウンセリングを学ぶことで、傾聴する

ことと寄り添うことができるようになりました。相談を受ける内容も業務上のちょっとした心配ごとからプライベートに及ぶ内容まで幅広いです」と語るように、今や会社にとって産業カウンセラーは欠かせない存在であり、様々な場面で活躍しています。



小峰リーダー

食生活の重要性を意識

同社では毎年の定期修理（工場未稼働）の期間を利用して、全従業員を対象とした「保健指導」研修を実施しています。外部講師を招聘し、食生活の改善について具体的な日常の留意点を分かりやすく解説する内容となっています。毎回多くの気付きを与えてもらえるため、この研修で動機付けられて食生活をガラッと変えた従業員も多いそうです。

工場の食堂では、毎日味噌汁が提供されますが、総務部の担当者がメニューを考案し、野菜中心の具材で塩分やカロリーを意識した内容となっています。



味噌汁の提供

自動販売機では、健康に有効なヤクルト製品や特定保健用食品の飲料の購入を促進するため、これらの商品を「社員価格」で販売しています。市販価格との差額は会社が負担し、商品メニューも豊富で手軽に購入できるよう配慮しています。



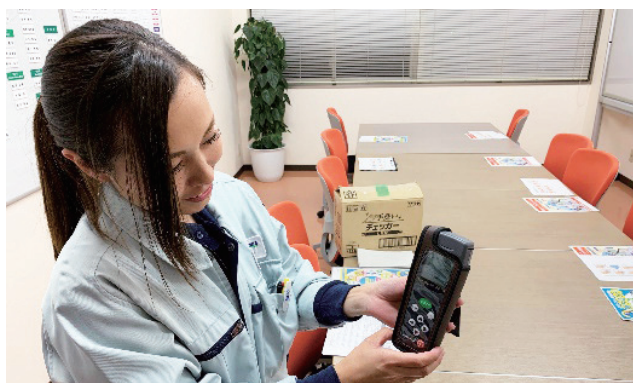
自動販売機

感染症対策にも積極的

同社は、食品工場として衛生管理には特段の注意を払っています。特に5S活動には精力的に取り組んでおり、全部門のメンバーから構成される5S委員会は年間を通じてきめ細かい活動指針を示しています。

その取組みの一つに「手洗い教室」があります。全従業員が正しい手洗いの方法を体得するのが目的ですが、レクチャーの後に実地試験があり、テスターによる計測が基準値に達しない場合は、何度でも合格するまで試験は繰り返されます。試験結果の上位には報奨が授与されますが、中には毎年驚異的な数値をたたき出す“手洗いプロ”もいるそうです。

手洗い教室は、従業員の正しい手洗いの習慣化に貢献し、新型コロナウイルス感染症の予防対策においても効果的であったと吉田マネージャーは評しています。同社は従業員の新型コロナワクチンの予防接種も推進しており、取材の時点（9月上旬）において接種希望者の約9割の接種と予約が確定しています。接種と移動の時間、及び副反応による休暇も業務と認めるなど、各部署の上長が総務部と連携して取り組んでいます。



手洗い教室の様子

健康経営に欠かせない「年次計画と予算化」

伊藤社長に健康経営を継続していくポイントについて伺いました。「健康経営に関する予算は、設備投資や販売促進費とは異なり、生産性に直接結びつくものではありません。毎年度実施計画を立て予算化することが必要です。」

このことについて吉田マネージャーは、「一年間取り組んだ成果を数値化して次年度の予算を確保しています。セミナー等で学んだ新しい企画も取入れるようにしています。健康経営の重要性は、経営者からパート従業員まで浸透しています。」と力強く語ります。

横関油脂工業株式会社

代表取締役 伊藤 幸一郎

所在地 〒319-1556
茨城県北茨城市中郷町日棚宝壺 644-49
中郷工業団地内

電話 0293-42-1464

業務内容 食用、化粧用、工業用油脂および天然ワックスとその関連製品、油脂化学品の製造販売及び、受託研究、技術相談

従業員数 108名（2021年8月現在）

設立 1948年

資本金 2,880万円